

宇宙分野売り上げ10億円

宇宙港支援企業と関係強化

SMFLレンタル

三井住友ファイナンス&リース(SMFL)子会社のSMFLレンタル(東京都千代田区)は、宇宙関連分野の計測器やソフトウェアなどのレンタル事業を強化する。計測環境や測り方まで提案できる強みを生かすほか、宇宙産業振興に力を入れる北海道大樹町への企業版ふるさと納税を通じ、宇宙関連企業との関係を深める。他のレンタル会社と差別化を図ることで、成長が見込まれる宇宙ビジネスの取り込みを急ぐ。2030年度に同分野の売り上げ10億円を目指す。

市場拡大取り込み急ぐ
SMFLレンタルの試験に必要な計測器は、人工衛星の音響や振動、衝撃、電波などをそろえる。試作で使用する解析ソフトウェア



アも提供する。システムインテグレーター(Sier)と連携し、顧客に最適な機器や計測環境を組み合わせて提供できるのが特徴。これまで人工衛星の試験を手がけてきた実績が少なくても利用しやすい、市場の拡大とともに幅広

SMFLレンタルは最適な試験環境も提供する

い企業からの引き合いが増える。リース・レンタル会社と同組織に加入するのは初めて。引き続き、航空宇宙分野に力を入れる自治体や研究機関を支援する方針。

宇宙ビジネスは市場の急拡大が見込まれている。米モルガン・スタンレーは世界市場が40年までに17年比3倍程度となる1兆円(約148兆円)を超え拡大するとみる。国内では内閣府が宇宙関連産業の振興策として「宇宙産業ビジョン2030」を策定し、市場規模を30年代初頭に17年比2倍の2兆4000億円まで拡大させることを目指している。SMFLレンタルは、市場拡大を追い風に受注増につなげ

が特徴。これまで人工衛星の試験を手がけてきた実績が少なくても利用しやすい、市場の拡大とともに幅広SMFLレンタルは最適な試験環境も提供する。宇宙港支援企業との関係を強める。新規顧客の開拓などにつな